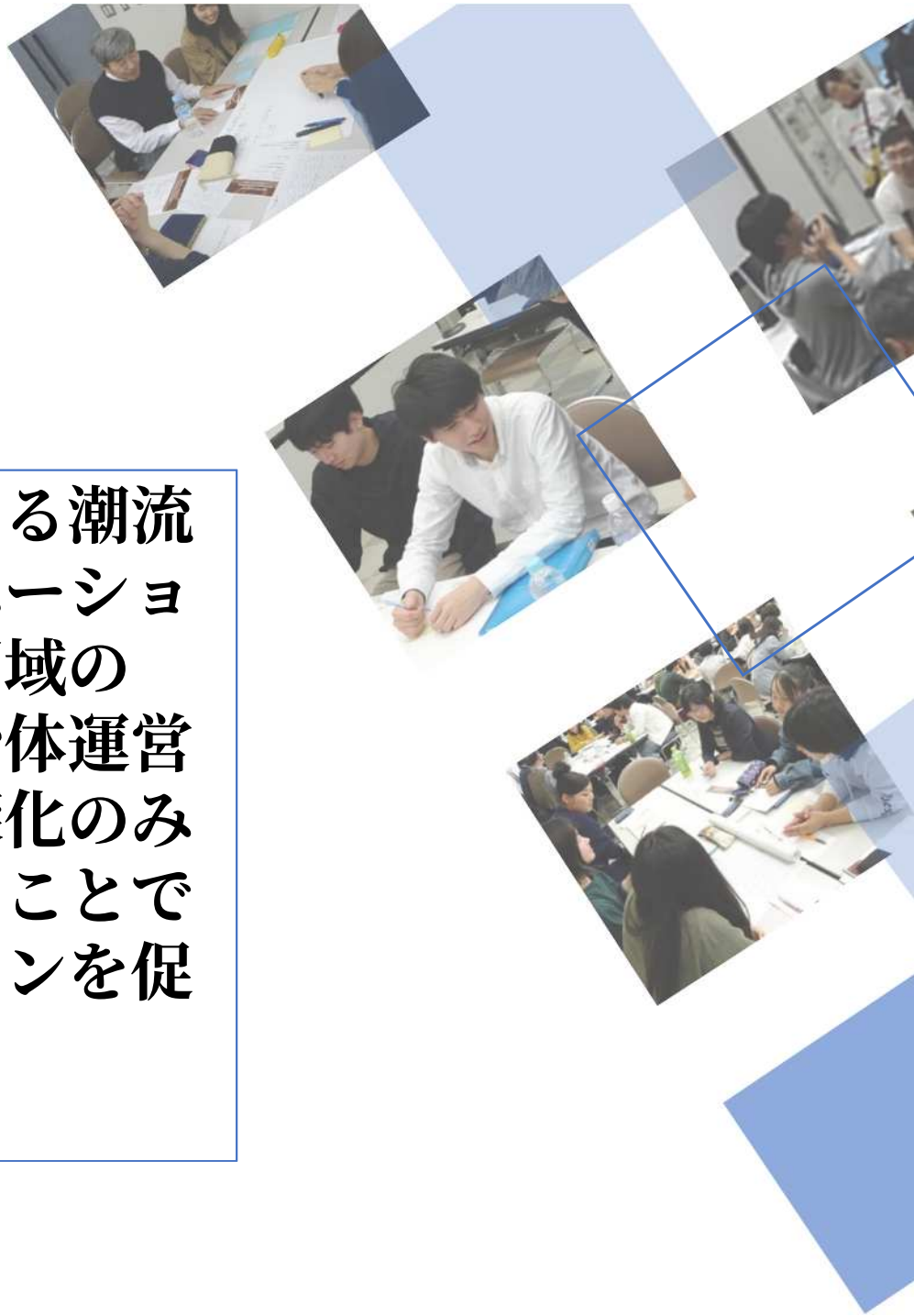
「とやま呉西圏域におけるソーシャルデザインの構築に向けたデザイン・ドリブン・イノベーションの実践的調査研究

富山短期大学
篠田隆行

はじめに



本研究では、近年の経営学における潮流であるデザイン・ドリブン・イノベーションを実践することで、富山県呉西圏域のソーシャルデザインを構築し、自治体運営に実践適用することで研究分野の深化のみならず、実践的な取組みを実施することで自治体運営におおけるイノベーションを促すことを最大の目的とした。

デザイン・ドリブン・イノベーションとは

デザイン・ドリブン・イノベーションとは、「製品の特徴ではなく意味を考え、改良ではなく革新的な変化を探求し、既存のニーズを満足させるのではなくビジョンを提案することでイノベーションを追求すること」である。つまり、**イノベーションを生み出す組織は、短期的な収益の確保のみを目指した利己的な行動ではなく、様々な分野に属する人と協働することにより、長期的で持続的なイノベーションを追求することができる**。

周りの人々とつながりをもつ

つながりにおいて新しい**意味**を解釈する

新しい意味を提示する

研究の目的と枠組み

1
ソーシャルデザイン

2
エコシステム

3
地域経営学

SDGs

事例研究・実践

実践 1

ミレニアル世代の目線で考える
とやま呉西圏域の未来

令和2年度
とやま呉西圏域調査研究事業

人口減少や少子高齢化による地域づくりの担い手不足を解消するため、関係人口の増加及び活力ある社会経済を維持・発展させる方策を検討することは喫緊の課題であります。

地域創生や地域活性化はいまや喫緊の社会問題で認識されている一方で、決定的に有効な解決策が見出されていないというのが実状です。

「まちづくり」は一朝一夕で実現できるものではなく、中長期的な展望にたち各ステークホルダーが自らの立場において構想することが重要です。10年後の「ありたい姿」を構築するうえで、そのまちの主役となり得るミレニアル世代が考える「ありたい姿」に耳を傾け、その実現に向け、多様な立場の人たちがそれぞれの知恵を提供しあう「場」としての機会となることを目的としています。

立教大学　社会デザイン研究所所長
中村陽一教授

13:30 -
13:30~13:35　あいさつ
14:00 -
13:35~14:35　中村陽一教授（立教大学　社会デザイン研究所長）　講演
「社会デザインとしての人・まち・くらし・働き方
～持続可能なワークライフ複合のアジェンダ構築のために～」
14:30 -
14:35~15:05　シンポジウム「とやま呉西圏域でのSDGsの取組事例」
パネリスト:中村陽一教授・富田昇太郎氏・三尾幸司氏
15:00 -
15:15~16:15
15:30 -
ワークショップ「ミレニアル世代が考えるまちづくり とやま呉西圏域のギャップと可能性」
富山短期大学生（52名）
中村陽一（立教大学教授）
富田昇太郎（ホクセイプロダクツ代表取締役社長）
緒方恵（ホクセイプロダクツ㈱）
中田勝久（株式会社富山銀行取締役）
本田尚孝（株式会社富山銀行企業金融部長）
藤田敬人（株式会社富山銀行企業金融部企画役補佐）
三尾幸司（社会デザインビジネスラボ事務局長）
篠田隆行・東野善男（富山短期大学准教授）　他
16:00 -
16:15~16:30　講評
16:30 -

11月22日（日）
13時30分～16時30分
ウィングウィング高岡・ホール

立教大学・中村教授による基調講演

JSOL・三尾氏による事例紹介

ワークショップの実施

実践 2

ものがたりの街

一般社団法人

医療ゾーン　ものがたり広場　お薬ゾーン　ものがたりの街概要　お問合せ　各種サービス

みんなで一緒に育てていく街

富山県砺波市太田地区で2020年秋に、ものがたりの街がオープンしました。
「ものがたりの街」は安心して過ごせる空間を皆で作っていく場所です。

「さあ、みんなで一緒にやりましょう」を合言葉に、
ハーブ園や野菜畑、イングリッシュガーデン、ケーキ屋さん、アロママッサージ、家具作り…
あなたの夢を、ここにいる仲間と一緒なら叶えられるかもしれません。
ソファーで珈琲を飲みながら音楽を聴き、本を読み、物想いにふけったり、
子供たちが勉強できるような環境、健康のために何かを学ぶ場所、
人が幾つになっても成長していける、楽しい時間を過ごせる場所。
そんな場所を一緒に育てていきませんか？

主催　学生イベント団体RE:ROOM
IN　ものがたりの街

TONAMI CHRISTMAS MARKET

古着古本100円から
ちりめん細工・あみぐるみ
ネイルサロン
縁日も開催！！！

12/20(日) 11:00~15:00

開催場所：砺波市太田１３８２
問合せ先：0763-55-6100(一般社団法人ものがたりの街　担当・雲井)

実践成果

実践成果

高岡市、立教大学、JSOLと包括連携協定を締結

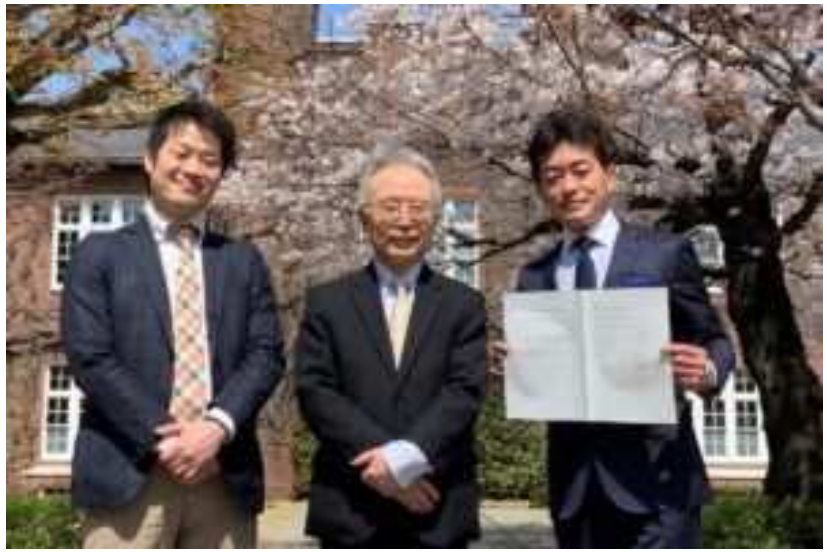
ホクセイプロダクツ株式会社（以下　ホクセイプロダクツ）は、3月23日に高岡市教育委員会（以下　高岡市）、立教大学社会デザイン研究所（以下　立教大学）、株式会社JSOL（以下　JSOL）と包括的な連携協定を締結しました。産官学連携による社会デザインの構築と、その成果によって事業を生み出すことを目指します

富山県高岡市は、錫や真鍮などの伝統産業が盛んですが、近年は少子高齢化による伝統産業の後継者不足が深刻化しています。こうした社会課題に対して、本枠組みは、社会デザインによる解決を目指します。具体的には、立教大学は地域における課題に対する社会デザインでの解決方法や考え方を提供します。例えば、伝統産業を体験できる場づくりなど、人の行動や意識を変えるための社会の仕組みや街づくりにおける手法を提供し、地域商社であるホクセイプロダクツと組むことで、高岡市にある伝統産業や強みを高岡内外へ発信し、新たな担い手を作っていきます。また、JSOLはＩＣＴを活用して、伝統産業のノウハウのAI化や伝統産業に関心のある方々との効率的なマッチングを行うことで継続可能な産業を構築し、次世代の育成としてプログラミング教育の機会の提供などを行います。社会デザインの構築を進めるうえで、ICTを活用した地域の活性化と関係人口創造の実現を目指します。

社会課題の解決は、短期的な視点では困難であり、中長期的観点より持続的に実施していく必要があります。一方で、地域内だけでの取り組みでは新たな発想が創出されにくいのも事実であり、少子高齢化が進む現代で、地域にある社会的課題を産官学連携の中で解決し、事業創造、地域振興デザインという枠組みで取り組んでいくことを目的に推進します。

防災や環境問題、フードロスなど、社会的な課題は、個々の企業や地域で解決することが難しい複雑なものであり、それぞれの地域や企業の強みを生かし、そこにICTの力が加わることで新しい価値を生み出すことができます。例えば、環境問題においては、単体の企業だけで取り組むのではなく、仕入や販売も考慮したサプライチェーン全体で考える必要があり、製品のトレーサビリティや排出される炭素量などのデータをICTを活用して、見える化することで、社会的にインパクトを与える事業とその効果が生まれます。そういった社会デザインとICTを兼ね備えることで本枠組みでの事業の創造を検討していきます。

また、本協定に基づき、ＩＣＴ・情報通信技術を使った子どもたちへの教育による次世代の育成、伝統産業のデジタル化・AI化による継続的な事業への進化と新たな価値の創造を実現し、地域課題の解決を目指し、その取り組みを今後、他の地域へも展開していきます。



提言

１．SDGsを共通言語として融合

２．高等教育機関の連携構築による有効活用

３．ソーシャルデザインの構築に伴うイノベーション創出に向けた「機会」と「方法」の醸成

収支報告

収入			支出		
区分	決算額	内訳	区分	決算額	内訳
補助金	500,000	令和2年度とやま呉西圏域調査研究事業	消耗品費	83,769	ワークショップ実施に伴う消耗品・資料整理用消耗品
自己収入	986		謝金	55,685	シンポジウム開催に伴う招聘講演者への謝金
			旅費	156,110	シンポジウム開催に伴う招聘者の交通費ならびに調査研究に伴う旅費
			会議費	56,960	ワークショップ開催に伴う会場賃借料
			その他	148,462	報告書印刷費他
合計	500,986		合計	500,986	

謝辞

本研究は「令和２年度とやま呉西圏域調査研究事業補助金」（「とやま呉西圏域におけるソーシャルデザインの構築に向けたとデザイン・ドリブン・イノベーションの実践的調査研究」による研究成果である。
また、調査研究の実践となったワークショップの実施にあたり、オブザーバーとして参加していただいた方々には、幅広い知見と見識、ならびに多くの助言・発案を戴いたことに改めて深謝の意を表します。

なお、本研究の調査研究結果については、富山短期大学紀要第57巻において「地域経営におけるソーシャルデザインの担い手」というタイトルで論文掲載できたことを併せて深謝いたします。